

獨立混成旅團第五年

昭和二十年自八月十五日  
至十月三十一日

大東亞戰爭衛生史編纂資料月報

獨立混成第二十二旅團

1424

大原重藏等衛生火備募次具料月報

自八月十五日分  
至十月三十一日分

獨立混成第32旅團

一、兵團行動ノ概要

兵團八月十五日全縣黃沙舖ニ出發、要隘貴陽、廣、經テ八月  
二十二日獨陽ニ到着ス。次テ同ヲ瑪線ニ進テ、長沙ニ至リ、岳州  
東方ヨリ咸寧ニ入り、十月七日武六對岸碼頭金銀ニ到着、兵營  
岩城、接收ノ為ニ武器ヲ解除ス。

十月十一日ヨリ十三日間揚子江、凌河ノ舊流ニ武六東方地区ニ  
分散駐屯ス。引續キ中國側ヨリ人員馬匹ノ突撃ヲ受ケ、

馬匹ヲ接收、等ヲ悉具施セリ。以テ東瓊地有活練、成教育職、

補遺教育等ニ邁進セリ。

一、衛生勤務ノ概要

(一) 患者收容ノ状況 (行軍間状況)

停戦ノ間、患者ニ對シテ、患部敷設一部、一部份既傷ヲ解カ、以テ東行

軍間全ク齎生機聞ク有セズ適時司令一部ニ於テ患者救  
 護班ヲ編成シ弱兵行軍不能者ヲ集メ自動車警邏列  
 車輸送(衛陽長沙間)ノ旨ヲ發セリ車輛運車換程セ  
 レ特ニ長沙ニ於テ入院停止セシメ長沙以後ハ殆ト下衛  
 生機關ニ患者ヲ送ルニトテ右部隊共自隊ニ於テ救護  
 班ヲ編成シ行軍ヲ續行シ来セリ

\*成爲等ニ於テ患者救護令セシメス因却セリ

武六集結進ニ前進入院及ハ病院所在地通過時入院セメ  
 タル患者、約三五名ナリ

武六ニ到着ト同時ニ九五ニ輸送入院セメタル患者、約四  
 名ナリ

(2) 集結後ニ於テ收護

兵團、武六ニ集結スル中第ハ十七兵站病院一部、既傷シ

又ケ十月二十三日患者、齊農所ヲ開設シ患者救護令ニ注セ

(納谷典・京東)

陸軍

レム

(1) 患者發生ノ状況

終戦ニ伴ヒ夜行軍ハ晝行軍トナリ氣候極高温ニシテ引續ク給養良ノ不良ト連日ノ行軍トニヨリ皆初相當ノ患者發生セルモ衡陽長沙地区ニ於テ適直弱兵ヲ選定シテ処理入院又ハ前送セルヲ以テ来患者ノ発生少數ニ止ルヲ得タリ患者ハマリアリ胃腸疾患脚氣營養失調症ヲ最多トス終戦以來集結進ノ入院患者約三〇〇名ナリ

三、終戦後ノ状況

終戦後ノ行軍間ニ於テハ各部隊共経理ノ官長行ニ適切ニ糧秣交付所ヲ開設シ部隊通過ノ際約五日人カツ、ソノ交付所ニシテセシメ概ニ順調ニ進歩シタルモ副食欠乏ノ點ヲ認メ難ク時ニ携帶ノ糧秣<sup>野菜、酸茶等</sup>ニヨリシ場合ハアリ

停戦前ノ如クナラズ主トシテ南京ノ副食欠トセリ

武六集能結後ハ中國側ヨリ主食セハハ瓦割食モ糧意  
ヨリ交付ヲ受ケ兵團ニ於テ主食ハハ瓦トシテ餘剩ハ後月ハ  
為蓄積スル如ク定メラレタリ

集結後、給與ハ行軍間ニ比シ甚カク良好トナレリ

炊事モ釜炊事器具ノ不齊ヨリ合同炊事ハ困難ナルモ  
部隊ニヨリ逐次合同炊事制ヲトリツアリ

四、給水ノ狀況

武六地区ハ一般ニ非水少ク人口池 池水ヲ利用シテ清水ヲ  
得難シ各部隊共各部落毎ニ湯<sup>湯</sup>用池 飲料水用池  
雜用水池等ニ使用ス分テ明確ニ使用スル如ク定メアリ  
ト<sup>ト</sup>ラ<sup>ラ</sup><sup>ラ</sup><sup>ラ</sup><sup>ラ</sup><sup>ラ</sup><sup>ラ</sup><sup>ラ</sup><sup>ラ</sup><sup>ラ</sup><sup>ラ</sup><sup>ラ</sup><sup>ラ</sup><sup>ラ</sup><sup>ラ</sup><sup>ラ</sup><sup>ラ</sup><sup>ラ</sup><sup>ラ</sup><sup>ラ</sup><sup>ラ</sup><sup>ラ</sup><sup>ラ</sup><sup>ラ</sup><sup>ラ</sup><sup>ラ</sup><sup>ラ</sup>湯過  
装置ハ設置シ難キモ各隊各々工夫ヲ新クシ簡易ナル  
湯過装置ヨリ作製セリ現ニ濾水器ヲ使用セハ司令部  
ノミナリ

(納谷典・京東)

兵被服ノ状況

武六集結前主下ニテ威寧ニ於テ冬衣袴各外套長ノ交付ヲ

受ケ武六集結後逐取<sup>ル</sup>毛布外套長ノ交付アリテ三人ニ付毛

布一枚 外套長ハ三人ニ一枚ノ割トナレリ

寒氣増々加ハラントスル折柄防寒ニ對シ遺憾ノ處多キ

モ毛布外套長ノ追加交付ハ兵團ニ於テ計畫中ナリ

六、傳染病發生ノ状況

停戦後行軍間ニ發生セル伝染病ハ赤痢ヲ第一トス赤痢

疾患ノタメ入院セルモノ武六集結迄約五〇名ナリ

集結後細菌性赤痢ノ發生ハ殆ト止ラ見サルニ至レルモ行

軍間ヨリ罹患シアリタルアノバ赤痢患者ハ集結後セ狂

サ再治療セスタメニ入院セルモノ約一〇名ナリ

武六集結ト同時ニ獨歩第六大隊砲隊ヨリ回歸熱發生

内務班ノ隔離不徹底ナリシタメ十月月間同隊ヨリ眞性

六名疑似三名ノ患病者ヲ出セリ

行軍間ヨリ衣風ノ発生多カリシモ除風音心ノ如クナラス駐留  
ト同時ニ爆發的發生ヲ見タシモト思考セラル

七、衛生材料接收ニ關スル事項

武穴集結ニ先立咸寧ヨリ軍医部々員一(毛利中尉)

九江ニ先行シ接收業務ヲニ定メリ九江ニ於テ各團ト連絡ヲ  
とり第一集團軍医処トノ間ニ異状ナク接收ヲ完了セリ

右ニテ兵團保有ノ衛生材料ハ集結期間兵團ニ於テ借用  
スルコトナシ乗船ノ際ニ以テ在地移動ノ際ハ届出器械並

ニ残余衛生材料ヲ九江第一集團軍医処ニ輸送返納  
スル如ク定メタリ

(納谷典・京東)

1430